

第5期 令和2(2020)年度 新宿区多文化共生まちづくり会議 第1回 第2部会 議事概要

日 時 2021年3月11日（木）10:00～12:00

場 所 しんじゅく多文化共生プラザ 多目的スペース

出席委員 稲葉委員、長谷部委員、岡田委員、申委員、奥田委員、鈴木委員、金子委員、金（朋）委員、
陳委員、原田委員、山口委員、守重委員、伊藤委員、國谷委員、内田委員 15名

欠席委員 センブ委員 1名

1 開会

2 部会長の選出

3 議事

(1) 前回会議議題「新型コロナウイルスによる影響について」

事務局から説明があった。

(2-1) 部会の運営について

事務局から前回会議議題「これまでの会議の振り返り」と「第5期審議の進め方」の意見まとめ
について説明があった。その後、委員からご意見をいただいた。

- ・部会の会議について、受入れは第1部会、生活支援は第2部会と内容を見ていくと重なっているところが結構あるが、分け方についてどうするのか。
- ・焦点を置いてほしいのは地域であり、地域での交流が特に求められている場面がどういったものなのか、それにアプローチするためにどのような方法があり得るのかということをまず確認して検討していきたい。
- ・基本的な事実関係や用語のイメージの確認作業、言葉のすり合わせが必要である。
- ・「交流」という言葉を使ってしまうと、短絡的に交流イベント等につながりやすい感じがする。「交流」を「関係」という言葉に置き換えると、生活の中で地域での関係性が必要な場面とライフステージで必要な場面でも違うと思う。
- ・現実に町会では外国籍の方は少なく、交流もほとんどない。現実を踏まえてやっていく必要がある。
- ・学生を交えた町会活動というところまでは現状では至っていない。
- ・防災という観点でも、もしもの時に何か話せる人がいて、駆け付けられる人がいるみたいな関係性をつくっておくということが、都会であっても地域が見えてくる場面ではないか。そういう観点から防災や子育てにアプローチしていくのが重要。
- ・必要なのは地域のつながりである。
- ・外国人が生活しやすい地域というのはどういう地域なのか。
- ・日本人にも目を向けてもらえるように防災の仕組み作りが必要。

(2-2) 部会の運営について

各委員からの意見を基に今後審議していただく予定の項目について、まとめていただいた。

- ・地域の実情の洗い出し、地域の実情に併せてその言葉のすり合わせを行いたい。
- ・イシュー型でテーマを取り上げるのではなく、ライフステージで整理して議論が拡散しないようにする必要はある。
- ・町会に関して学習会をしたい。
- ・町会活動を取り上げた後、外国人の皆さんの町会活動や困っている事を議論するのはどうか。
- ・外国人のコミュニティがどうなっているのか取り上げるのが良い。
- ・交流というか日本人の意識というか、私たちが持っている意識と言葉についてのすり合わせという形ではどうか。
- ・町会の話をするときに防災も入ってくる。
- ・ライフステージで考えてみるとか、子育てや学校との連携が出てくる等、道筋が見えてくると思う。

(3) その他

事務局から事務連絡（参考資料の説明等）があった。

(4) 次回の日程

事務局から次回会議の日程（2021年5月開催予定）について説明があった。

4 閉会